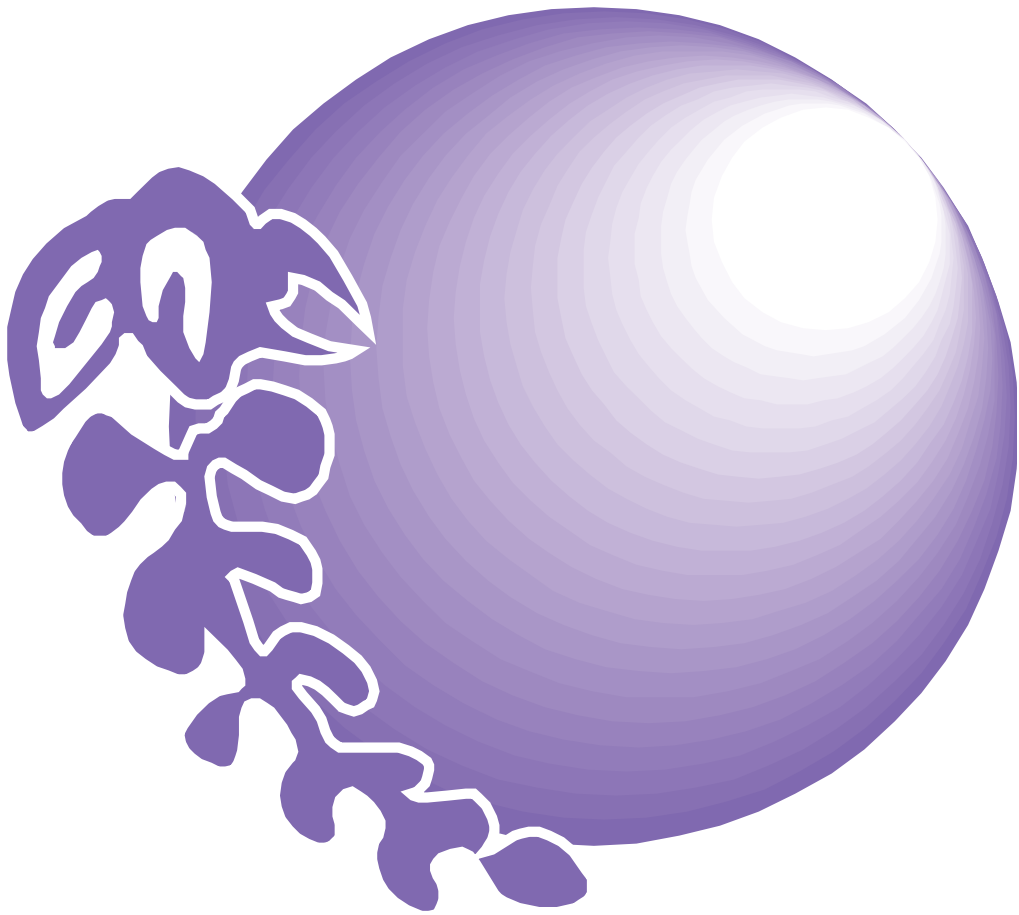


平成26年度

事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日)



学校法人 **高崎健康福祉大学**

平成26年度 事業報告書 目次

理事長挨拶	1
1 法人の概要	
1-1 建学の理念、教育方針、設立目的	2
1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況	2
1-3 学園の沿革	3
1-4 役員・評議員・教職員の概要	4
1-5 学校法人組織機構図	5
2 事業の概要	
2-1 入学試験の状況	6
2-2 卒業者数、終了者数	7
2-3 大学院関係	7
2-4 トピックス	7
2-5 施設設備	10
3 財務の概要	
3-1 計算書類等	11
3-2 消費収支計算の推移	18
3-3 消費収支計算の推移のグラフ	19
3-4 消費収支計算の財務比率の推移	21
3-5 資金収支計算書	22
3-6 資金収支計算書 収入の部	22
3-7 資金収支計算書 支出の部	22
3-8 消費収支計算書	22
3-9 貸借対照表	23
3-10 監査報告書	24
4 今後の課題	24

理事長挨拶

学園理事長・学長 須藤賢一(農学博士)

■略歴

- ・北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- ・農林水産省森林総合研究所成分利用研究室室長
- ・ポストドクターとしてカナダ・サスカチュワン大学化学工学科で研究活動
- ・平成3年から群馬女子短期大学副学長として学園に赴任、以降同短期大学長、学園理事長として現在に至る
- ・群馬県私立大学協会会長
- ・ぐんま地域・大学連携協議会会長



自己の可能性を社会で活かす道へ

皆さんは、それぞれ内なる可能性を必ず持っています。その真価を社会で発揮することは、自分自身の人生を豊かなものとするだけでなく、よりよい社会を築く力となります。

本学は、医療・福祉・教育の分野を専門とする4学部7学科を擁しています。医療・福祉・教育は、我が国の施策において今後ますます重視され、進歩が求められます。今日、医療においてはチーム医療が、教育においては幼保一体化や幼小中の連携への取り組みが強化されています。また、少子高齢社会において、福祉の視点はあらゆる分野に必要です。それぞれの現場で専門家として活躍し、新たな変革の担い手となる人材を育てる。それが本学の教育の目指すところです。医療・福祉・教育は、いずれも人の一生に欠かせないものです。

本学は、それら「人をささえる分野」に特化した総合大学として、各専門分野の学びおよび資格取得と、専門を超えて1人の人間の幸せをトータルに見つめる包括的な視野を重視しています。その専門性と総合性の融合が、各分野のリーダーとして最前線を牽引する可能性をひらくことでしょう。

さらに国際化する社会においては、海外を志向する学生のみならず、我が国の地域社会をささえる人材にも国際的な素養が求められます。本学は、インドネシアのステカス大学、ドイツのフレゼニウス大学およびベトナムのホーチミン医科薬科大学と教育・学術交流協定を結び、教員の共同研究を推進するとともに、学生の海外研修や本学を訪れる留学生との交流を充実させています。それらの機会に積極的に参加して国際性を磨くことにより、将来の活躍の幅も広がります。

本学は健大精神として、人の喜びを自分の喜びとする「自利利他」を掲げています。人とふれあい、人の役に立つ実感は何ものにも代えがたいやりがいです。その充実感こそが、自己の無限の可能性を引き出すエネルギーとなるでしょう。自分自身を社会で活かす生き方をスタートしてみませんか。本学では志を育み、かなえる環境を整えてお待ちしております。

～高崎健康福祉大学HPより～

1 法人の概要

1-1 建学の理念、教育方針、設立目的

建学の理念: 人類の健康と福祉に貢献する

教育方針: 人の喜びを己の喜びとする「自利利他」の精神の涵養

設立目的:

大学は教育基本法および学校教育法に従い、健康と福祉にかかわる諸問題を情報処理、福祉、栄養、薬学、看護、理学療法及び子ども教育の観点から総体的に捉え、快適な人間生活の方策を攻究すると共に、健康を基調とした人間中心型の福祉社会の創造に貢献できる指導的な人材の養成を目的とする。

高校は教育基本法並びに学校教育法により中学校の教育の上に心身の発達に応じて、高等普通教育を施行することを目的とする。

1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況

*現員数は平成26年5月1日現在

学校名	学部・専攻・学科・課程	開設年度	入学定員 (人)	入学者数 (人)	編入学定員 (人)	編入学者数 (人)	収容定員 (人)	現員 (人)
高崎健康福祉大学 大学院	健康福祉学研究科(修士) 医療福祉情報学専攻	平成17年度	3	0	—	—	6	2
	保健福祉学専攻		3	3	—	—	6	3
	食品栄養学専攻		4	2	—	—	8	4
	健康福祉学研究科(博士) 保健福祉学専攻	平成19年度	3	3	—	—	9	7
	食品栄養学専攻		2	0	—	—	6	1
	薬学研究科(博士) 薬学専攻	平成24年度	3	1	—	—	9	2
	保健医療学研究科(修士) 看護学専攻	平成24年度	6	7	—	—	12	11
	計		24	16	—	—	56	30
高崎健康福祉大学	健康福祉学部 医療情報学科	平成13年度	70	88	2年次 2 3年次 2	0 0	290	356
	社会福祉学科		60	67	2年次 5 3年次 5	1 0	265	303
	健康栄養学科		80	83	—	—	320	334
	薬学部 薬学科	平成18年度	90	106	—	—	540	564
	保健医療学部 看護学科	平成18年度	100	113	—	—	345	370
	理学療法学科		40	44	—	—	160	176
	人間発達学部 子ども教育学科	平成24年度	80	91	3年次 5	0	250	274
	計		520	592	24	1	2,170	2,377
高崎健康福祉大学 高崎高等学校	普通科 全日制課程	昭和43年度	460	488	—	—	1,380	1,443
高崎健康福祉大学 附属幼稚園	—	昭和49年度	—	117	—	—	360	363

1-3 学園の沿革

昭和11年	2月10日	須藤和洋裁女学院を創立
昭和24年	2月21日	須藤和洋裁女学院を設立認可
昭和29年	12月18日	財団法人須藤学園を設立認可 須藤高等技芸学校と改称
昭和35年	2月20日	準学校法人須藤学園を設立認可
昭和41年	1月27日	学校法人須藤学園を設立認可
〃	〃	群馬女子短期大学家政科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和42年	1月23日	群馬女子短期大学国文科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和43年	1月17日	群馬女子短期大学附属高等学校普通科「全日制課程」を設置認可、同年4月1日から開校
昭和44年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科・国文学科と改称
昭和45年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を家政専攻(40人)・食物栄養専攻(40人)に専攻分離
昭和46年	4月3日	学校法人群馬女子学園と改称
昭和49年	2月27日	群馬女子短期大学附属幼稚園を設置認可、同年4月1日から開園
昭和63年	12月22日	群馬女子短期大学経営情報学科を設置認可、平成元年4月1日から開学
平成2年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を生活学科に、家政専攻を生活教養専攻と改称
平成11年	12月22日	群馬女子短期大学国文学科を日本語コミュニケーション学科に、経営情報学科を情報文化学科に設置認可、平成12年4月1日から開学
平成12年	12月21日	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康情報学科、保健福祉学科、健康栄養学科設置認可、平成13年4月1日から開学
平成13年	4月1日	学校法人高崎健康福祉大学、高崎健康福祉大学短期大学部、高崎健康福祉大学高崎高等学校、高崎健康福祉大学附属幼稚園と改称
平成13年	8月1日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科児童福祉専攻(80人)設置認可、平成14年4月1日から開学
平成13年	10月30日	高崎健康福祉大学短期大学部国文学科及び経営情報学科廃止認可
平成14年	12月19日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を設置認可、平成15年4月1日から開学
平成16年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部日本語コミュニケーション学科を廃止
平成16年	4月1日	高崎健康福祉大学健康情報学科を医療福祉情報学科に改称し入学定員を70名に、健康栄養学科の入学定員を80名に、高崎健康福祉大学短期大学部生活学科生活教養専攻並びに児童福祉専攻を改組し、生活学科と児童福祉学科を設置
平成16年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科設置認可、平成17年4月1日から開学
平成17年	12月5日	高崎健康福祉大学薬学部薬学科及び看護学部看護学科設置認可、平成18年4月1日から開学
平成18年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科(博士後期課程)設置認可、平成19年4月1日から開学
平成19年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科を廃止
平成19年	9月30日	高崎健康福祉大学短期大学部情報文化学科を廃止
平成21年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を廃止
平成21年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科を医療情報学科に保健福祉学科を社会福祉学科に改称
平成22年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科の入学定員を60名に、高崎健康福祉大学看護学部を保健医療学部に変更、高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科を開学
平成23年	10月24日	高崎健康福祉大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程、保健医療学研究科看護学専攻修士課程、高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科を設置認可、平成24年4月1日から開学
平成25年	7月4日	高崎健康福祉大学短期大学部児童福祉学科廃止認可
平成26年	3月27日	収益事業(医療・福祉)を開始することに対し認可、平成26年10月20日から高崎健康福祉大学附属クリニック開院
平成26年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科看護学専攻に助産学分野を開設

1-4 役員・評議員・教職員の概要

理事	理事長	須藤 賢一	監事	伊藤 文隆
	副理事長	磯貝 昭夫		永井 乙彦
	常務理事	平川 敬		
	内部理事	他3名		
	外部理事	他5名		

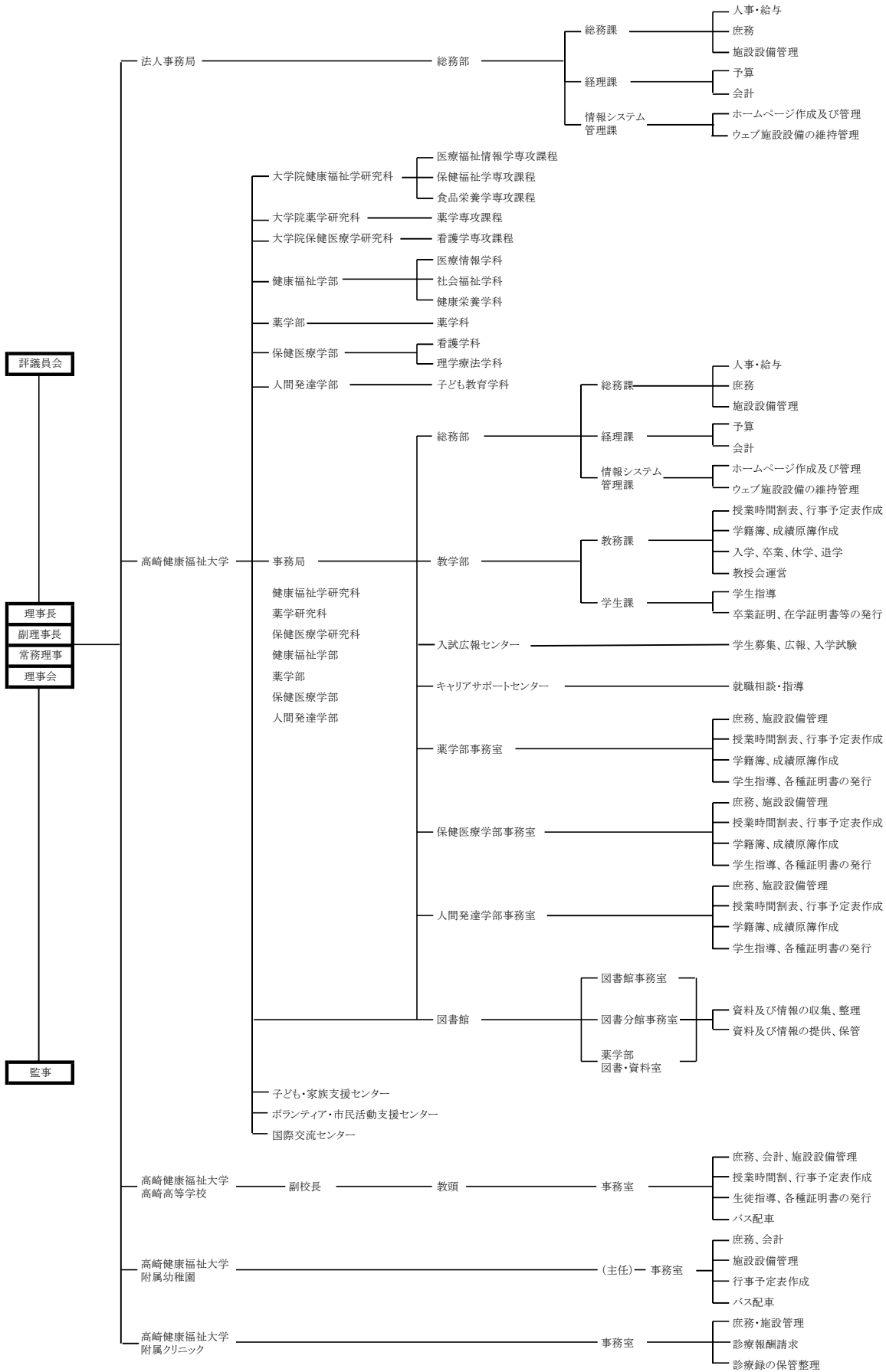
評議員 23名

教職員

*平成26年5月1日現在

学校	学部等	本務教員	非常勤教員	本務職員	兼務職員	合計
	法人	0	0	4	0	4
大学	健康福祉学部	58	51	35	26	170
	薬学部	37	9	6	9	61
	保健医療学部	57	26	10	8	101
	人間発達学部	27	14	3	3	47
	小計	179	100	54	46	379
	高等学校	69	20	7	7	103
	幼稚園	23	5	2	2	32
	合計	271	125	67	55	518

1-5 学校法人組織機構図



2 事業の概要

2-1 入学試験の状況(平成27年4月入学対象)

学校	学部	学科	区分	AO	推薦	一般	特別	合計
大学	健康福祉	医療情報	志願者	1	60	194	0	255
			受験者	1	60	192	0	253
			合格者	1	34	138	0	173
			倍率	1.0	1.8	1.4	-	1.5
		入学者	1	34	28	0	63	
		社会福祉	志願者	7	54	232	0	293
			受験者	7	54	230	0	291
			合格者	6	36	137	0	179
			倍率	1.2	1.5	1.7	-	1.6
		入学者	6	36	33	0	75	
		健康栄養	志願者	15	134	456	1	606
			受験者	15	134	447	1	597
	合格者		2	32	131	1	166	
	倍率		7.5	4.2	3.4	1.0	3.6	
	入学者	2	32	53	1	88		
	薬	薬	志願者	10	96	592	1	699
			受験者	10	96	569	1	676
			合格者	3	37	179	0	219
			倍率	3.3	2.6	3.2	-	3.1
	入学者	3	37	58	0	98		
	保健医療	看護	志願者	28	123	662	4	817
			受験者	27	123	645	4	799
			合格者	4	36	186	0	226
			倍率	6.8	3.4	3.5	-	3.5
入学者		4	36	70	0	110		
理学療法		志願者	17	63	468	2	550	
		受験者	17	63	464	2	546	
		合格者	2	14	69	1	86	
	倍率	8.5	4.5	6.7	2.0	6.3		
入学者	2	14	33	1	50			
人間発達	子ども教育	志願者	10	96	295	0	401	
		受験者	9	96	290	0	395	
		合格者	3	38	173	0	214	
		倍率	3.0	2.5	1.7	-	1.8	
入学者	3	38	43	0	84			
合計		志願者	88	626	2,899	8	3,621	
		受験者	86	626	2,837	8	3,557	
		合格者	21	227	1,013	2	1,263	
		倍率	4.1	2.8	2.8	4.0	2.8	
入学者	21	227	318	2	568			
学校			区分	推薦	学特 I	学特 II	一般	合計
高等学校		志願者	317	1,420	1,481	10	3,228	
		受験者	317	1,413	1,135	9	2,874	
		合格者	311	1,354	1,056	5	2,726	
		倍率	1.0	1.0	1.1	1.8	1.1	
入学者	335	147	2	4	488			

2-2 卒業生数、修了者数(平成26年度)

学校	学部・研究科	学科	卒業生数
大学院	健康福祉学研究科	保健福祉学専攻 博士後期課程	1
		医療福祉情報学専攻 修士課程	2
		食品栄養学専攻 博士前期課程	2
	保健医療学研究科	看護学専攻 修士課程	3
大学	健康福祉学部	医療情報学科	94
		社会福祉学科	84
		健康栄養学科	87
	薬学部	薬学科	58
	保健医療学部	看護学科	86
理学療法学科		43	
高等学校			516
幼稚園			121

2-3 大学院関係

平成26年4月に高崎健康福祉大学大学院・保健医療学研究科・看護学専攻に助産学分野が設置されました。助産学分野は、助産師養成領域と助産実践開発科学領域の2つの領域で構成されています。大学院の修士課程で助産師を養成するのは、群馬県内で本研究科が初めてです。助産学分野では、群馬県の周産期医療の質の向上を推進し、少子化社会において女性が安心して妊娠・出産・育児ができる様な支援を強化する高度実践助産師の育成を目指しています。

2-3 トピックス

○平成27年3月卒業生の就職内定率

キャリアサポートセンターでは、学生の就職に関する情報提供、相談、支援を専任職員3名、嘱託職員2名、キャリアカウンセラー3名で取り組んでまいりました。平成26年4月に9号館1階に移転し、学生の利用率も更に向上いたしました。当センターでは具体的な就職支援として、各学部の就職スケジュールに合わせた就職講座、SPI対策講座、公務員試験対策講座、キャリアカウンセラーによる履歴書の添削や模擬面接の実施、小論文対策など実践に即した指導を行っております。

本学の学生たちは、自身の夢をかなえるため、資格や専門性を活かして就職活動に臨み、着実に実社会へとつなげることができました。その結果、平成27年3月卒業生の内定状況は下表のとおり、健康福祉学部97.6%、保健医療学部100%、薬学部 77.6% でした。今後も、アドバイザーの教員との連絡を密にして、学生の就職活動を支援してまいります。

表1 健康福祉学部就職内定率

健康福祉学部	医療情報	社会福祉	健康栄養	合計
卒業生	94名	84名	87名	265名
大学院等進学	1名	0名	3名	4名
就職希望者	89名	80名	83名	252名
就職者数	86名	78名	82名	246名
内定率	96.6%	97.5%	98.8%	97.6%

表2 保健医療学部就職内定率

保健医療学部	看護学科	理学療法学科	合計
卒業生	86名	43名	129名
大学院等進学	2名	0名	2名
就職希望者	83名	43名	126名
就職者数	83名	43名	126名
内定率	100.0%	100.0%	100.0%

表3 薬学部就職内定率

薬学部	薬学部	合計
卒業生	58名	58名
大学院等進学	0名	0名
就職希望者	58名	58名
就職者数	45名	45名
内定率	77.6%	77.6%

○国試等の合格者数・合格率

平成26年度卒業生の国試等の合格者(合格率)は以下の通りです。

表4 国試等の合格者数・合格率

学科	試験	受験者	合格者	合格率(%)
医療情報	診療情報管理士認定試験	36名	33名	91.7%
社会福祉	社会福祉士国家試験	72名	24名	33.3%
	精神保健福祉士国家試験	16名	10名	62.5%
健康栄養	管理栄養士国家試験	83名	83名	100.0%
看護	看護師国家試験	83名	82名	98.8%
	保健師国家試験	84名	84名	100.0%
理学療法	理学療法士国家試験	43名	41名	95.3%
薬	薬剤師国家試験	58名	42名	72.4%
	臨床検査技師国家試験	2名	1名	50.0%

○その他の事業

・平成26年6月実施の「平成26年度第1回(通算第15回)日本語検定」において、受検級、認定率、得点率等の全部門から総合的に判断され、全国71大学・短大受検校中、第一位に選ばれました。その褒賞として「文部科学大臣賞」を受賞致し、10月22日、使者の方から須藤賢一理事長に賞状と記念の楯が手渡されました。

・学術協定が交わされている海外の教育機関とは、平成26年度も双方間の短期研修が行われ、各国の文化・歴史・教育に触れると共に専攻分野に関わる知識を深めました。また、双方の学生交流を通じ、コミュニケーション力と国際的視野を広げる貴重な機会となりました。

◎シドニー大学英語教育センター / ARV(高齢者施設)訪問(全学科)

派遣:H26年8月28日～9月13日(27名、17日間、ホームステイ)

◎ドイツフレゼニウス大学(理学療法学科)

派遣:H26年9月17日～27日(14名、11日間、ホームステイ)

受入:H27年2月14日～3月4日(14名、19日間、ホテル/ホームステイ)

◎インドネシアステカス大学(看護学科)

派遣:H27年2月22日～3月4日(5名、11日間、ホテルステイ)

◎ベトナムホーチミン医科薬科大学(全学科)

派遣:H27年3月8日～18日(21名、11日間、大学寮)

受入:H26年10月21日～31日(24名、11日間、ホテル/ホームステイ)

また、新たな提携校として、2015(平成27年)4月にフィンランドのジャムク大学と協定を結びます。フィンランドの医療・福祉・教育を学び、施設を視察するプログラムを現在検討中です。学内では、オープンキャンパス参加や学園祭出店を通して、高校生、地域住民など学内外の多くの方々に高崎健康福祉大学の国際交流活動について知って頂くことができました。今後もより充実した国際交流活動を目指し質の高い魅力的なプログラムを考えていきたいと思っております。

・高大連携事業も6年目となり、平成26年度は系列の高崎健康福祉大学高崎高等学校の生徒を対象として、以下のとおり、特別プログラムを8事業実施いたしました。およそ180名の生徒が参加し、それぞれ高校生の学びの一助となり、大変好評でした。

群馬県全体としても、高大連携の取組が活発化しており、本学も系列校以外の高校との取組が増加中です。

高大連携により大きく変わったのは、大学教員と高校教員のつながりが増したことです。さらに、高校生と関わることで、大学生も自らの学習の振り返りを行うことが出来、プレゼンテーション力の向上や、研究活動や資格取得への意欲の増加につながったようです。本学では、こうした取組から派生したネットワークなどが、今後の学生サービスの向上につながることを期待して、これからも高大連携事業を継続していく予定です。

◎医療情報学科 イムス太田中央総合病院見学

◎社会福祉学科 「ボランティアをやってみよう!」～「読み聞かせ」を活用したレクリエーション活動～、車椅子バスケットボール大会

◎健康栄養学科 食品加工学実習(ミカンの缶詰を作ろう!) ◎薬学科 (講義・実験)重さの量れないものの量は どうやって調べるの?

◎看護学科(講義・演習) ～初めての看護技術体験～「生活習慣病について知ろう」「仲間による健康教育を体験しよう～みんな違ってみんないい～」

◎理学療法学科 (講義・演習)「薬を使わない医療・理学療法の世界ー病院から日常までー」、(マッサージ・ストレッチ体験)「あなたの皮膚はきちんと動きますか?ー皮膚を動かし体の変化を体験しようー」「ストレッチングの講義体験をしよう」

◎子ども教育学科 (リレー講義)「子どもの身体と心を育む運動遊び」「心理実験を通して『こころ』の不思議さを体験してみよう」「子ども向けテレビ番組を分析する」「重複障害って何?」

・ボランティア・市民活動支援センターは、平成26年4月より9号館1階の専用ルームに拠点を移し、業務をスタートしました。学生のボランティアに関する相談、情報提供、活動先へのコーディネートを中心に、学生の社会貢献活動の入口としての役割を果たしています。センターには、センター長1名と専任コーディネーター1名、嘱託職員1名を配置して対応しています。センターの活動拠点は、専用ルームのほか9号館の学生ホールも一部活用しています。各種掲示や雑誌等の配架による情報提供の場として、ボランティア関係の打ち合わせの場としても利用できるようになってきました。

また、VSCに協力する学生スタッフも誕生して、学生自身による学生支援も始まっています。拠点のスタートに合わせて、本学ホームページのVSCのコーナーもリニューアルしました。

平成26年度ボランティア参加の実績は次のとおりです。

◎ボランティア学生参加者……280団体からの依頼に延べ1,534名が参加

◎赤い羽根共同募金の学内募金……10月に実施、学生サポーター(募金を呼びかける学生)述べ76名により、5日間で41,743円の募金を集めました。

◎企業とコラボし、ベルマーク運動を展開……26年度後期から実施、ベルマーク743枚、インクカートリッジ30個、プリントナー11本が集まり、この運動を展開しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社を通じて、被災地の学校の支援活動に協力しました。

◎学生がVSC及びボランティア活動について、身近に感じてもらい、また、気軽に利用・参加してもらうために「VSC学生スタッフ」が組織されています。学生自身が主体となってボランティア活動を紹介し、一緒に活動することを呼びかけています。26年度は「学生スタッフ募集ガイダンスの実施」「ボラトーク(ボランティアを依頼する施設や団体が学内で学生と直接対話をする事で、ボランティアに対する理解を深めてもらうイベント)の開催」などの活動を実施しました。その他、学生スタッフセミナーなどの研修やオープンキャンパスへの協力など、VSCと共同して活動を行っています。

◎「施設利用者と友達になろうプロジェクト(ともプロ)」活動は、養護老人ホーム希望館に協力をいただき、年間を通して学生が企画して実践しています。26年度は3回訪問しました。

◎学内の学生サークルには、活動先を紹介して特性を活かした実践に結び付けました。

◎東日本大震災に伴う災害復興支援ボランティア活動として、宮城県亶理町及び仙台市に4回(6/28・9/18-19・3/23-24・3/26-27)訪問し、延べ84名の学生が参加しました。また、大学祭では、学生の活動内容を紹介するパネル展示および活動地域(亶理町)の復興プロジェクトの製品を販売し、現地の団体に還元しました。

・第25回 群馬県私立大学スポーツ大会が10月4日(土)～5日(日)に行われ、本学では11種目の競技に出場した。2日目は朝から雨という生憎の天候でしたが、雨の中、女子フットサルは優勝カップを手に入れました。男女合わせて11種目中3種目で優勝、5種目で3位以内に入りました。思うような結果が出せなかったチームもあったようですが、今回は本学が主管校となりますので、各チームの活躍を大いに期待したいと思います。

・高崎市が設置している「高崎市消防団学生分団員」が平成25年に結成されてから、本学も数名の学生が授業の空き時間等を利用して、団員として活動に協力しています。8月29日に高崎市より協力事業所(大学)に対して「高崎市消防団協力事業所表示証」が交付されました。

・平成26年度の養護教諭採用試験に、現役生の春日葉月さんが長野県と富山県の採用試験に合格、同じく現役生の永嶋佑季子さんが栃木県と福島県の採用試験に合格、既卒性の高橋みのりさんが群馬県の採用試験に合格しました。5県とも5倍から10倍の高倍率でしたが、その難関を突破して、養護教諭のスタートを切りました。学生たちは看護師、保健師の国家試験の勉強と並行して、採用試験の勉強を進め、養護教育課程の先生方の熱心な採用試験対策のサポートを受けて、地道に努力してきました。努力すれば夢は叶うことを、後輩たちに伝えてくれたと思います。

・理学療法学科では、平成26年12月20日に卒業生(一期生)が企画運営する勉強会が開催されました。在学生も含め約80と多くの参加を得て盛大に開催されました。

浅香学科長の講演と、卒業生の二人が臨床に出て8か月余りで学んだことを上手にまとめて話しました。最後に、本学科教授の小林勉先生による特別講演が行われました。今後も、こうした活動を継続し「社会に役立つ理学療法士」「選ばれる理学療法士」の育成に、卒業生・学部生・教職員一丸となって取り組んでいくことを誓いました。

・大学9号館の完成を記念して、公開講座「新しい時代の授業づくり」を平成27年2月15日(日)に、英語教育と理学科教育に関して実施しました。講座終了後の意見交換会では様々な質問や活発な議論がなされました。

・平成26年度大学スケート部は、酒井寧子(健康栄養学科1年)が日本代表として、ジュニアワールドカップ第1戦(カナダ・カルガリー)女子1500m、3000mで優勝。国内大会では阿部友香(医療情報学科4年)がJapan cup(1戦～4戦)ポイントランキング女子1000m、1500mで総合優勝。永田希絵(医療情報学科2年)が第34回日本学生スピードスケート選手権大会で女子スプリント総合優勝、阿部が女子オールラウンド総合優勝を果たしました。また、第87回日本学生氷上選手権大会(インカレ)では女子2000mリレーで優勝するなど国際大会、国内大会で着々と成果を上げています。

・健大高崎高校は、平成26年5月に行われた群馬県高等学校総合体育大会では、3年連続21回目の女子総合優勝を達成しました。男子総合は16位でした。入場行進では29年連続29回目の優秀校になりました。団体種目では、剣道・サッカー女子・柔道女子が優勝しました。関東大会には9部が出場しました。全国高校総体には7部が出場し水泳の谷口優羅が2種目で準優勝と健闘しました。長崎国体では野球部が決勝で高知県代表の明德義塾に惜しくも2-3で敗れたものの堂々の準優勝、また甲子園も夏・春と出場し2大会連続のベスト8と大活躍しました。文化部の活動も活発で吹奏楽・書道・演劇・箏曲・写真・競技かるたなどが真剣に取り組んでいます。

・健大高崎高校は、進学面では生徒のニーズに応えられるように着々と学校全体で取り組んでいます。9月に新たに「健大OASIS」を導入しました。「健大OASIS」のコンセプトは「学力向上」「進学実績の大幅な伸長」です。健大高崎高校は、真の「文武両道」を目指しています。毎日多くの生徒が「健大OASIS」を利用し熱心に学習に取り組んでいます。この新しいシステムの導入により進学実績が大きく飛躍すると確信しています。

・幼稚園の未就園児教室(2～3歳)‘りんごクラブ’は6年目を迎え、りんごクラブ専用保育室を園庭内に設置しました。公園等子どもが自由にあそぶ場が地域内に少ない現状の中で多くの方が利用しています。

・幼稚園では、保育環境の充実を図る為、園庭にある砂場の拡張を行いました。広い砂場で異年齢児との関わりを楽しみながら伸び伸びと楽しんでいます。

2-5 施設設備

○附属クリニック

平成26年10月20日、高崎健康福祉大学附属クリニックが開院しました。今年度は整形外科、リハビリテーション科を開設し、平成27年4月からは内科が加わり、訪問看護ステーション、女性・妊産婦ケアステーションも併設されます。これにより本学学生の実習施設確保、学生、教職員の健康管理面でのサポート、教育のみならず地域の方々の健康維持・増進のための質の高い医療の提供など他方面への貢献が可能になります。

○高校サッカー場

平成26年5月、高校サッカー場が完成しました。全面人工芝のグラウンド、フットサル場を完備し男女サッカー部の活動に申し分ない環境が整いました。

3-1 計算書類等

資金収支計算書

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

(単位 : 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,127,422,000	4,123,608,070	3,813,930
手数料収入	97,825,000	90,831,445	6,993,555
寄付金収入	49,118,000	49,112,345	5,655
補助金収入	938,946,000	941,025,389	△ 2,079,389
国庫補助金収入	443,179,000	438,725,000	4,454,000
県補助金収入	492,027,000	498,555,863	△ 6,528,863
市町村補助金収入	3,740,000	3,744,526	△ 4,526
資産運用収入	45,618,000	58,063,424	△ 12,445,424
資産売却収入	204,000,000	293,794,291	△ 89,794,291
事業収入	163,664,000	169,789,844	△ 6,125,844
雑収入	54,866,000	59,365,016	△ 4,499,016
借入金等収入	250,000,000	250,000,000	0
前受金収入	597,450,000	620,290,000	△ 22,840,000
その他の収入	224,800,000	229,820,828	△ 5,020,828
資金収入調整勘定	△ 715,300,000	△ 722,978,403	7,678,403
前年度繰越支払資金	1,588,900,000	1,588,877,018	
収入の部 合計	7,627,309,000	7,751,599,267	△ 124,290,267
支出の部			
人件費支出	2,715,080,000	2,713,211,136	1,868,864
教育研究経費支出	1,291,150,000	1,276,862,223	14,287,777
管理経費支出	345,400,000	337,469,681	7,930,319
借入金等利息支出	1,190,000	1,047,638	142,362
借入金等返済支出	125,000,000	125,000,000	0
施設関係支出	225,150,000	224,927,300	222,700
設備関係支出	179,360,000	172,190,586	7,169,414
資産運用支出	967,150,000	967,213,559	△ 63,559
その他の支出	171,000,000	186,452,950	△ 15,452,950
(予備費)	(0) 20,000,000		20,000,000
資金支出調整勘定	△ 54,500,000	△ 60,499,603	5,999,603
次年度繰越支払資金	1,641,329,000	1,807,723,797	△ 166,394,797
支出の部 合計	7,627,309,000	7,751,599,267	△ 124,290,267

資金収支内訳表

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	3,425,035,940	559,215,130	139,357,000
手数料収入	0	63,214,345	27,333,100	284,000
寄付金収入	0	40,404,000	8,248,000	460,345
補助金収入	0	440,187,299	443,287,090	57,551,000
国庫補助金収入	0	438,725,000	0	0
県補助金収入	0	1,269,463	443,125,400	54,161,000
市町村補助金収入	0	192,836	161,690	3,390,000
資産運用収入	1,731,000	43,375,070	9,465,441	3,491,913
資産売却収入	293,794,291	0	0	0
事業収入	0	92,586,412	73,915,582	3,287,850
雑収入	8,721	31,599,745	25,648,322	2,108,228
借入金等収入	250,000,000	0	0	0
計	545,534,012	4,136,402,811	1,147,112,665	206,540,336

支出の部

(単位：円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
人件費支出	29,950,748	1,959,607,970	615,648,336	108,004,082
教育研究経費支出	0	911,410,790	313,740,095	51,711,338
管理経費支出	24,335,340	231,330,547	74,239,877	7,563,917
借入金等利息支出	748,765	0	298,873	0
借入金等返済支出	25,000,000	0	100,000,000	0
施設関係支出	0	5,022,000	214,233,300	5,672,000
設備関係支出	117,965	146,092,096	20,874,893	5,105,632
計	80,152,818	3,253,463,403	1,339,035,374	178,056,969

人件費支出内訳表

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

(単位:円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
教員人件費支出	0	1,543,686,994	531,063,646	91,143,008
本務教員	0	1,495,517,091	502,072,984	89,739,344
本俸	0	831,265,946	273,123,813	51,776,471
期末手当	0	318,994,500	110,664,200	19,157,200
その他の手当	0	135,277,753	43,629,087	6,452,660
所定福利費	0	209,978,892	74,655,885	12,353,013
兼務教員	0	48,169,903	28,990,662	1,403,664
職員人件費支出	29,110,748	402,728,626	59,584,690	14,809,074
本務職員	28,546,343	338,060,002	45,571,500	14,809,074
本俸	14,679,600	177,736,917	23,274,000	6,477,600
期末手当	7,010,200	74,142,300	9,719,900	2,583,800
その他の手当	5,221,776	37,717,341	5,628,160	1,294,138
所定福利費	1,634,767	48,463,444	6,949,440	1,693,744
兼務職員	564,405	64,668,624	14,013,190	2,759,792
役員報酬支出	840,000	0	0	0
退職金支出	0	13,192,350	25,000,000	2,052,000
教員	0	9,018,750	25,000,000	2,052,000
職員	0	4,173,600	0	0
合計	29,950,748	1,959,607,970	615,648,336	108,004,082

消費収支計算書

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

(単位 : 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	4,127,422,000	4,123,608,070	3,813,930
手数料	97,825,000	90,831,445	6,993,555
寄付金	55,138,000	56,171,855	△ 1,033,855
補助金	938,946,000	941,025,389	△ 2,079,389
国庫補助金	443,179,000	438,725,000	4,454,000
県補助金	492,027,000	498,555,863	△ 6,528,863
市町村補助金	3,740,000	3,744,526	△ 4,526
資産運用収入	45,618,000	58,063,424	△ 12,445,424
資産売却差額	64,700,000	66,489,432	△ 1,789,432
事業収入	163,664,000	169,789,844	△ 6,125,844
雑収入	54,866,000	59,365,016	△ 4,499,016
帰属収入 合計	5,548,179,000	5,565,344,475	△ 17,165,475
基本金組入額 合計	△ 513,300,000	△ 508,432,322	△ 4,867,678
消費収入の部 合計	5,034,879,000	5,056,912,153	△ 22,033,153
消費支出の部			
人件費	2,715,080,000	2,713,211,136	1,868,864
教育研究経費	1,760,150,000	1,742,636,056	17,513,944
管理経費	385,650,000	377,709,771	7,940,229
借入金等利息	1,190,000	1,047,638	142,362
資産処分差額	13,350,000	13,351,956	△ 1,956
(予備費)	⁽⁰⁾ 20,000,000		20,000,000
消費支出の部 合計	4,895,420,000	4,847,956,557	47,463,443
当年度消費収入超過額	139,459,000	208,955,596	
前年度繰越消費支出超過額	4,038,350,000	4,038,343,018	
翌年度繰越消費支出超過額	3,898,891,000	3,829,387,422	

消費収支内訳表

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

消費収入の部

(単位：円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	3,425,035,940	559,215,130	139,357,000
手数料収入	0	63,214,345	27,333,100	284,000
寄付金収入	0	47,377,670	8,333,840	460,345
補助金収入	0	440,187,299	443,287,090	57,551,000
国庫補助金収入	0	438,725,000	0	0
県補助金収入	0	1,269,463	443,287,090	54,161,000
市町村補助金収入	0	192,836	161,690	3,390,000
資産運用収入	1,731,000	43,375,070	9,465,441	3,491,913
資産売却差額	66,489,432	0	0	0
事業収入	0	92,586,412	73,915,582	3,287,850
雑収入	8,721	31,599,745	25,648,322	2,108,228
帰属収入 合計	68,229,153	4,143,376,481	1,147,198,505	206,540,336
基本金組入額 合計	△ 117,965	△ 161,147,792	△ 336,388,933	△ 10,777,632
消費収入の部 合計	68,111,188	3,982,228,689	810,809,572	195,762,704

消費支出の部

(単位：円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高等学校	附属幼稚園
人件費支出	29,950,748	1,959,607,970	615,648,336	108,004,082
教育研究経費支出	0	1,246,739,164	427,979,043	67,917,849
管理経費支出	27,567,590	253,432,488	86,332,330	10,377,363
借入金等利息	748,765	0	298,873	0
資産処分差額	1,766,890	11,585,066	0	0
消費支出の部 合計	60,033,993	3,471,364,688	1,130,258,582	186,299,294

貸借対照表

平成27年 3月31日まで

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	13,346,001,090	12,725,043,123	620,957,967
有形固定資産	10,579,398,364	10,690,751,291	△ 111,352,927
その他の固定資産	2,766,602,726	2,034,291,832	732,310,894
流動資産	1,900,693,206	1,798,682,933	102,010,273
資産の部 合計	15,246,694,296	14,523,726,056	722,968,240
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	175,000,000	0	175,000,000
流動負債	751,282,266	920,701,944	△ 169,419,678
負債の部 合計	926,282,266	920,701,944	5,580,322
基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	17,705,799,452	17,197,367,130	508,432,322
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	344,000,000	344,000,000	0
基本金の部 合計	18,149,799,452	17,641,367,130	508,432,322
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,829,387,422	4,038,343,018	208,955,596
消費収支差額の部 合計	△ 3,829,387,422	△ 4,038,343,018	208,955,596
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計	15,246,694,296	14,523,726,056	722,968,240

財 産 目 録

平成27年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	26年度末
[1] 資産総額	15,246,694,296
1、基本財産	10,579,398,364
(1) 土地	124,530.48㎡ 1,494,784,568
(2) 建物	59,346.62㎡ 7,077,565,685
(3) 構築物	522,464,783
(4) 図書	164,155冊 526,855,088
(5) 教具・校具、及び備品	24,118点 953,432,748
(6) その他(車両)	4,295,492
2、運用財産	4,667,295,932
(1) 預金、現金	1,807,723,797
(2) 積立金	1,852,464,406
(3) 有価証券	568,746,998
(4) 電話加入権	952,358
(5) 施設利用権	4,500,102
(6) 出資金	600,000
(7) 収益事業元入金	310,315,852
(8) 長期貸付金	16,960,000
(9) 敷金	9,281,901
(10) 未収入金	84,150,403
(11) 短期貸付金	4,240,000
(12) 前払金	1,784,237
(13) 立替金	2,794,769
(14) ソフトウェア	2,781,109
[2] 負債総額	926,282,266
1、固定負債	175,000,000
(1) 長期借入金	175,000,000
2、流動負債	751,282,266
(1) 短期借入金	50,000,000
(2) 前受金	620,290,000
(3) 未払金	56,030,524
(4) 預り金	24,961,742

3-2 消費収支計算の推移

(単位：円)

学 園	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
帰属収入	5,350,512,959	5,458,537,743	5,457,611,335	5,565,344,475
消費支出	4,994,704,237	4,910,071,311	4,768,364,334	4,847,956,557
人件費	2,559,715,735	2,696,021,584	2,732,594,545	2,713,211,136
教育研究経費	1,724,553,244	1,661,393,595	1,608,051,407	1,742,636,056
管理経費	417,743,860	396,736,676	409,355,313	377,709,771
その他	292,691,398	155,919,456	18,363,069	14,399,594

法 人	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
帰属収入	6,963,481	5,022,798	14,036,338	68,229,153
消費支出	83,234,638	58,181,638	49,270,772	60,033,993
人件費	26,570,374	26,752,075	26,864,840	29,950,748
教育研究経費	0	0	0	0
管理経費	41,522,905	17,218,812	21,507,335	27,567,590
その他	15,141,359	14,210,751	898,597	2,515,655

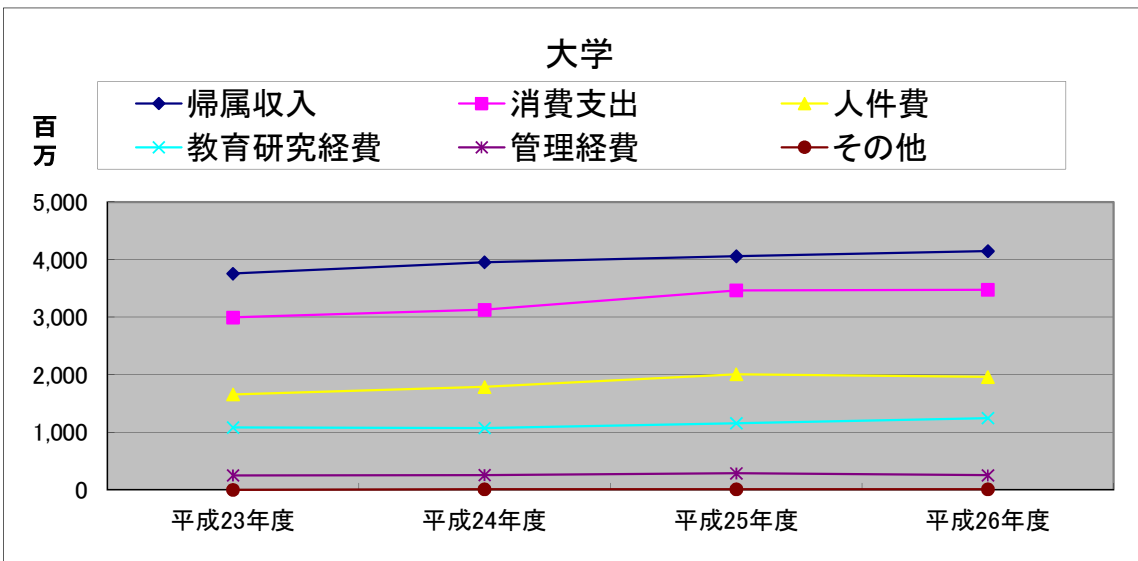
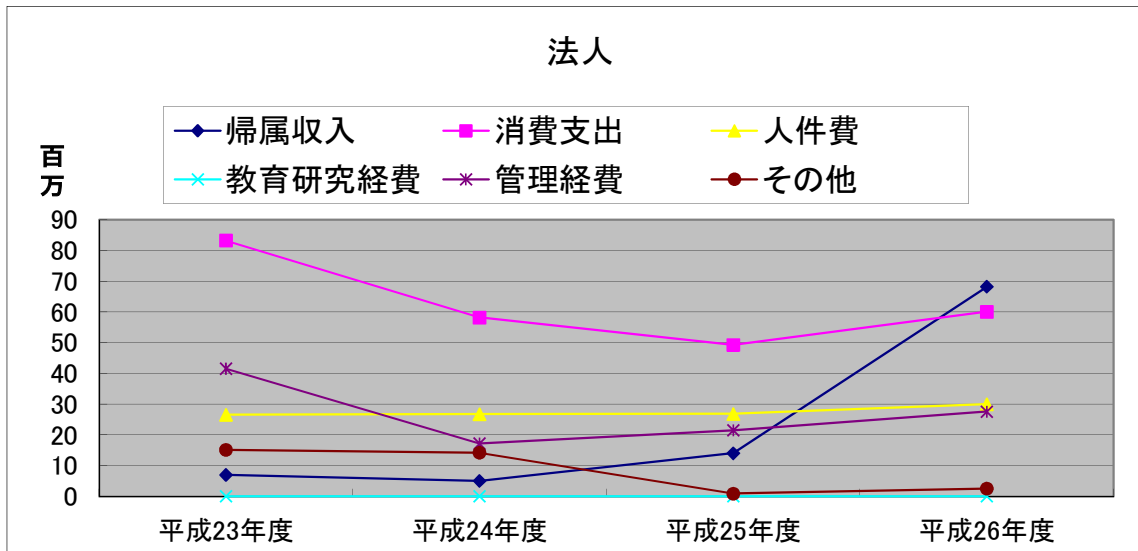
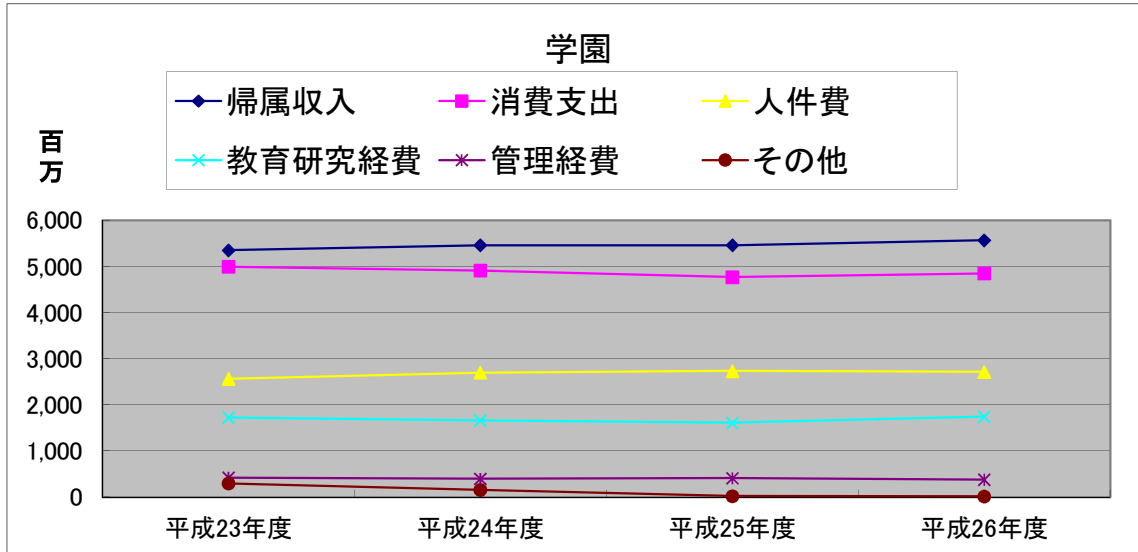
大 学	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
帰属収入	3,755,954,245	3,951,953,481	4,055,513,834	4,143,376,481
消費支出	2,995,375,086	3,127,181,829	3,462,025,852	3,471,364,688
人件費	1,657,289,285	1,788,782,919	2,007,651,779	1,959,607,970
教育研究経費	1,085,104,566	1,073,332,279	1,156,397,165	1,246,739,164
管理経費	251,979,908	256,076,190	287,165,427	253,432,488
その他	1,001,327	8,990,441	10,811,481	11,585,066

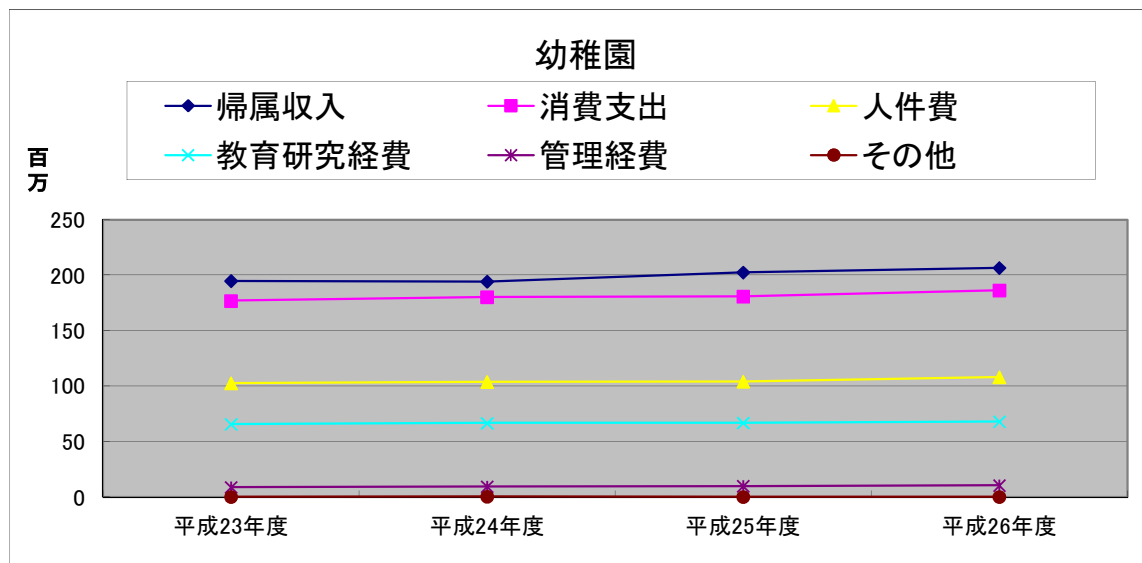
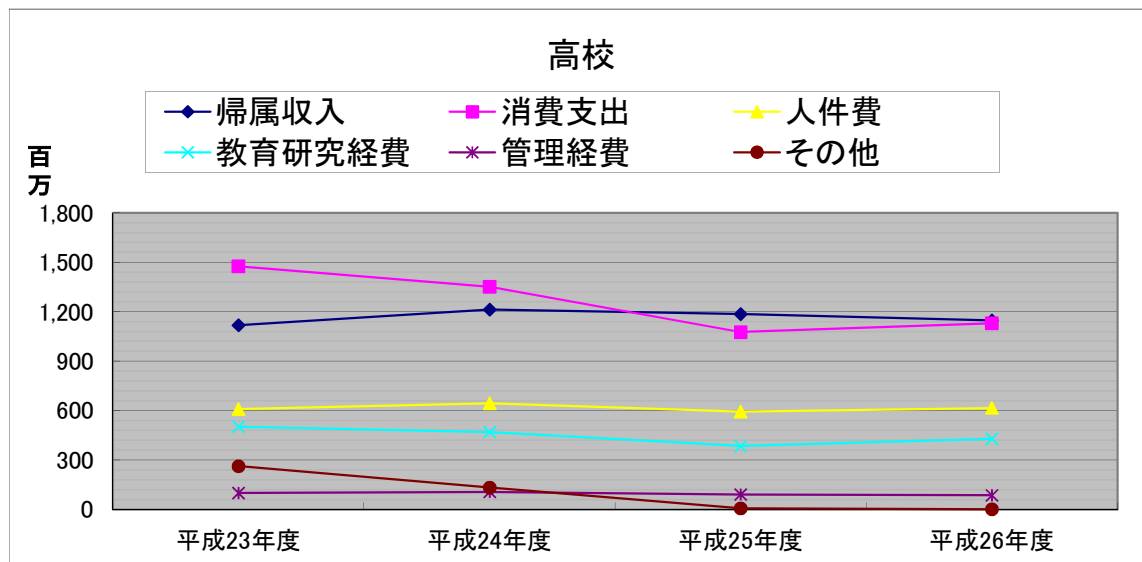
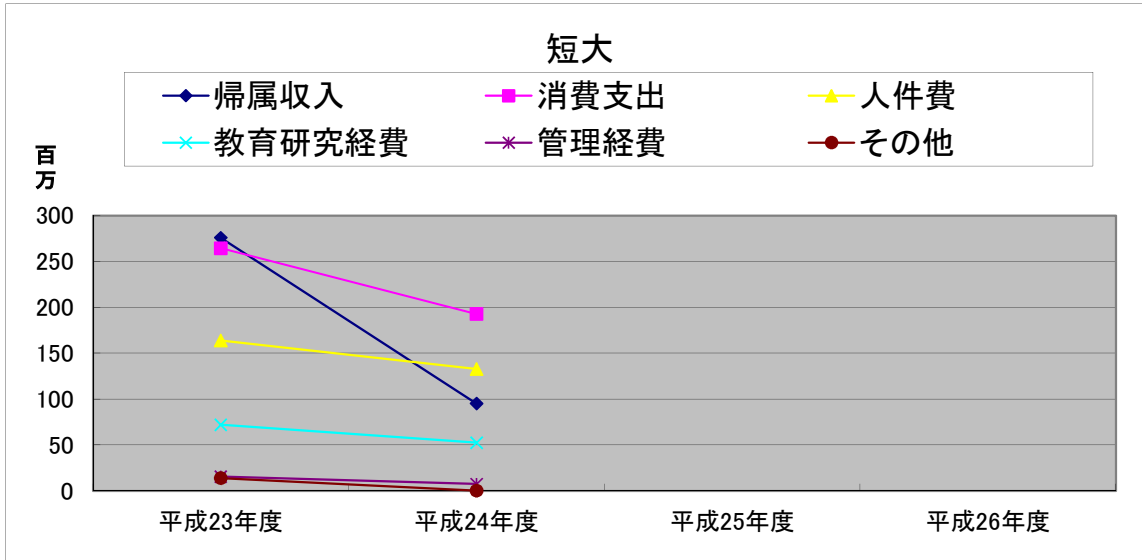
短 大	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
帰属収入	275,958,686	95,081,843		
消費支出	264,504,599	192,784,901		
人件費	163,721,331	132,836,616		
教育研究経費	71,785,674	52,430,897		
管理経費	15,229,536	7,382,977		
その他	13,768,058	134,411		

高 校	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
帰属収入	1,116,926,106	1,212,342,510	1,185,718,692	1,147,198,505
消費支出	1,474,701,467	1,351,752,380	1,076,414,910	1,130,258,582
人件費	609,518,013	643,834,232	593,938,056	615,648,336
教育研究経費	502,116,756	468,943,201	384,900,110	427,979,043
管理経費	100,286,044	106,705,890	90,924,387	86,332,330
その他	262,780,654	132,269,057	6,652,357	298,873

幼稚園	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
帰属収入	194,710,441	194,137,111	202,342,471	206,540,336
消費支出	176,888,447	180,170,563	180,652,800	186,299,294
人件費	102,616,732	103,815,742	104,139,870	108,004,082
教育研究経費	65,546,248	66,687,218	66,754,132	67,917,849
管理経費	8,725,467	9,352,807	9,758,164	10,377,363
その他	0	314,796	634	0

3-3 消費収支計算の推移のグラフ





3-4 消費収支計算の財務比率の推移

(%)

学園	算式	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費比率	人件費／帰属収入	47.8	49.3	50.0	48.7
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	32.2	30.4	29.4	31.3
管理経費比率	管理経費／帰属収入	7.8	7.2	7.5	6.7
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	6.6	10.0	12.6	12.8

法人	算式	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費比率	人件費／帰属収入	381.5	532.6	191.3	43.8
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	0.0	0.0	0.0	0.0
管理経費比率	管理経費／帰属収入	596.2	342.8	153.2	40.4
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	-1,095.3	-1,058.3	-251.0	12.0

大学	算式	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費比率	人件費／帰属収入	44.1	45.2	49.5	47.2
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	28.8	27.1	28.5	30.0
管理経費比率	管理経費／帰属収入	6.7	6.4	7.0	6.1
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	20.2	20.8	14.6	16.2

短大	算式	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費比率	人件費／帰属収入	59.3	139.7		
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	26.0	55.1		
管理経費比率	管理経費／帰属収入	5.5	7.7		
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	4.1	-102.7		

高校	算式	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費比率	人件費／帰属収入	54.5	53.1	50.0	53.6
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	44.9	38.6	32.4	37.3
管理経費比率	管理経費／帰属収入	8.9	8.8	7.6	7.5
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	-32.0	-11.4	9.2	1.4

幼稚園	算式	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費比率	人件費／帰属収入	52.7	53.4	51.4	52.2
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	33.6	34.3	32.9	32.8
管理経費比率	管理経費／帰属収入	4.4	4.8	4.8	5.0
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	9.1	7.1	10.7	9.8

3-5 資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであり、かつ支払い資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

3-6 資金収支計算書 収入の部

学生生徒等納付金収入 予算4,127,422千円に対し決算4,123,608,070円で3,813,930円の減額、手数料収入 予算97,825千円に対し決算90,831,445円で6,993,555円の減額、寄付金収入 予算49,118千円に対し決算49,112,345円で5,655円の減額、補助金収入 予算938,946千円に対し決算941,025,389円で2,079,389円の増額、資産運用収入 予算45,618千円に対し決算58,063,424円で12,445,424円の増額、これは有価証券が償還したことによる配当金収入が増額したため、資産売却収入 予算204,000千円に対し決算293,794,291円で89,794,291円の増額、これは有価証券が償還したことによる増額である。事業収入は主に学生寮寮費及び学生駐車場の使用料、受託・共同研究費の収入であり、予算163,664千円に対し決算169,789,844円で6,125,844円の増額で、これは主に受託研究費収入が増額したためである。雑収入 予算54,866千円に対し決算59,365,016円で4,499,016円の増額、借入金等収入 予算250,000千円に対し決算250,000,000円で差異はなく、前受金収入 予算597,450千円に対し決算620,290,000円で22,840,000円の増額、その他の収入 予算224,800千円に対し決算229,820,828円で5,020,828円の増額、資金収入調整勘定 予算△715,300千円に対し決算△722,978,403円で7,678,403円の増額、前年度繰越支払資金 予算1,588,900千円に対し決算1,588,877,018円となり、収入の部合計 予算7,627,309千円に対し決算7,751,599,267円で124,290,267円の増額となった。

3-7 資金収支計算書 支出の部

人件費支出 予算2,715,080千円に対し決算2,713,211,136円で1,868,864円の減額、教育研究経費支出 予算1,291,150千円に対し決算1,276,862,223円で14,287,777円の減額、管理経費支出 予算345,400千円に対し決算337,469,681円で7,930,319円の減額、借入金等利息支出 予算1,190千円に対し決算1,047,638円で142,362円の減額、借入金等返済支出 予算125,000千円に対し決算125,000,000円で差異はなく、施設関係支出 予算225,150千円に対し決算224,927,300円で222,700円の減額、設備関係支出 予算179,360千円に対し決算172,190,586円で7,169,414円の減額、資産運用支出 予算967,150千円に対し決算967,213,559円で63,559円の増額、その他の支出 予算171,000千円に対し決算186,452,950円で15,452,950円の増額、資金支出調整勘定 予算△54,500千円に対し決算△60,499,603円で△5,999,603円の増額となり、次年度繰越支払資金 予算1,641,329千円に対し決算1,807,723,797円で166,394,797円の増額となり、支出の部合計予算7,627,309千円に対し決算7,751,599,267円で124,290,267円の増額となった。

3-8 消費収支計算書

「消費収支計算書」は当該会計年度における消費収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、計算目的に違いはありますけれども、いわば企業会計の損益計算書にあたるものであります。

帰属収入合計 予算5,548,179千円に対し決算5,565,344,475円で17,165,475円の増額で、基本金組入額合計 予算△513,300千円に対し決算△508,432,322円で△4,867,678円の減額となり、消費収入の部合計 予算5,034,879千円に対し決算5,056,912,153円で22,033,153円の増額となった。

消費支出合計 予算4,895,420千円に対し決算4,847,956,557円で47,463,443円の減額となり、当年度消費収入超過額は208,955,596円、前年度繰越消費支出超過額は4,038,343,018円、翌年度繰越消費支出超過額は3,829,387,422円となった。

3-9 貸借対照表

○ 資産の部

固定資産 本年度末13,346,001,090円に対し前年度末12,725,043,123円で620,957,967円の増額、流動資産 本年度末1,900,693,206円に対し前年度末1,798,682,933円で102,010,273円の増額となり、資産の部合計 本年度末15,246,694,296円に対し前年度末14,523,726,056円で722,968,240円の増額となった。

○ 負債の部

固定負債 本年度末175,000,000円に対し前年度末0円で175,000,000円の増額、流動負債 本年度末751,282,266円に対し前年度末920,701,944円で169,419,678円の減額であり、負債の部合計 本年度末926,282,266円に対し前年度末920,701,944円で5,580,322円の増額となった。

○ 基本金の部

第1号基本金は固定資産購入のためのものであり、本年度末17,705,799,452円に対し前年度末17,197,367,130円で508,432,322円の増額、第3号基本金は奨学金基金であり、本年度100,000,000円に対し前年度末100,000,000円で増減はなく、第4号基本金は運営に必要な運転資金の額1カ月分を保持するためのもので、本年度末344,000,000円に対し前年度末344,000,000円で増減はなかった。基本金の部合計が本年度末18,149,799,452円に対し前年度末17,641,367,130円508,432,322円の増額となった。

○ 消費収支差額の部

消費収支差額の部合計は本年度末△3,829,387,422円に対し前年度末△4,038,343,018円で△208,955,596円の減額となり、負債の部、基本金の部、消費収支差の部合計本年度末15,246,694,296円に対し前年度末14,523,726,056円で722,968,240円の増額決算となった。

3-10 監査報告書

監 査 報 告 書

学校法人 高崎健康福祉大学

理事長 須藤 賢一 殿

平成 27 年 5 月 22 日

学校法人 高崎健康福祉大学

監 事、伊藤 文隆



監 事 永井 乙彦



私たち監事は、私立学校法 37 条第 3 項及び学校法人高崎健康福祉大学寄附行為第 8 条各号の定めに基づき、平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）の法人の財産の状況及び学校法人の業務の執行および決定の状況を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会、評議員会に出席したほか、理事から業務執行および財産の状況につき説明を求め、報告を聴取しました。また、会計監査人である「新日本有限責任監査法人」公認会計士と連携を図り、計算書類につき検討を加えた。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び寄附行為に従い法人の財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務の執行に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

4 今後の課題

平成27年5月1日現在の大学、高校、幼稚園の在籍者数はそれぞれ2,455名、1,366名、367名であり、総数4,188名(26年度4,210名)で経営的には安定している。

しかし少子高齢化が進んでおり、大学の志願者数の推移で見ると平成25年度をピークに漸減傾向が2年継続している。この漸減傾向を食い止めるべく大学の知名度の向上、各種国家試験対策、就職率・質の更なる向上等に鋭意努力中である。

又平成26年10月に附属クリニック、平成27年4月に訪問看護ステーション、女性・妊産婦ケアステーションを開業し、学生の実習施設としての利用は基より、将来の地域医療・福祉の担い手として第一歩を踏み出しております。

所在地

法人本部・健康福祉学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1

TEL 027-352-1290 FAX 027-353-2055

URL <http://www.takasaki-u.ac.jp>

保健医療学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501

TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985

薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60

TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

人間発達学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2

TEL 027-352-5558 FAX 027-352-1311

高等学校

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町531

TEL 027-352-3460 FAX 027-353-0855

URL <http://www.tuhw-h.ed.jp>

幼稚園

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町506-1

TEL 027-352-3461 FAX 027-352-7180

URL <http://takasaki-u-kinder.com>

クリニック

〒370-0036 群馬県高崎市南大類町200-2

TEL 027-388-8840 FAX 027-388-8860

URL <http://www.kendai-clinic.jp>